

一回復期病棟での新たな取り組みー

(医) 康心会 ふれあい町田ホスピタル

H19年5月に開院してから、今年で4年目を迎える事が出来ました。回復期リハビリ病棟はH19年8月1日から始まりました。徐々に病床数を増やしていき、今年度には199床全ての病棟が開棟しました。

リハビリスタッフも徐々に増えて、現在ではPT16名・OT12名・ST3名が在籍し、病棟担当制で勤務しています。

今回は、昨年度末より回復期リハビリ病棟にて取り組みを始めた“家族交流会”を中心に各病棟の紹介もしていきます。

○ 各病棟の紹介

【3A 病棟】整形外科疾患の患者様を中心に受け入れている一般病棟です。脊椎・脊髄センターとして、毎週頸椎・腰椎の手術が行われており、術後早期からのリハビリに取り組んでいます。

【3B 病棟】回復期病棟です。脳血管疾患・整形疾患の患者様がそれぞれ5割程度の割合で入院しています。H22年7月より日曜・祝日リハも開始し、365日体制でリハビリを行っています。

【4A 病棟】透析患者様を中心に受け入れている一般病棟です。透析患者様に対しても週2~3回程度のリハビリを提供し、体力維持向上に努めています。

【4B 病棟】慢性期の患者を多く受け入れている一般病棟です。リハビリの頻度が少ない中でも、患者様の能力を維持していけるように、病棟と連携し日々のリハビリを行っています。

○ 回復期病棟での家族交流会

同じ病棟で長期間入院している患者様とその家族同士、同じような悩みや不安など抱えているのではないかと？他の家族の話も聞いてみたい、話してみたいと思っているのではないかと？家族同士で交流をする場があれば、心の中にある不安や悩みの解決の手助けになるのではないかと・・・との思いから、昨年3月より家族交流会を2カ月に1回程度の頻度で開催してきました。

3月から11月までの間で、計5回開催することが出来ました。

手探りな状況の中、MSW・病棟・リハビリが中心となり医師や栄養士などの力も借りつつ、試行錯誤を重ね現在に至ります。

家族交流会では病気の事・退院後の生活の事等、最初に話題提供として各専門職がミニ講演会をしています。その後、スタッフも含めて小グループを作り、普段なかなか聞けない事や、どうしたらいいのか困っていることなどお互いに話をしています。最初は遠慮気味となり、なかなか話が弾みませんでした。一人二人と質問や普段思っている事を話すうちに、同じ意見や思いを持った家族からも声が上がって、話も盛り上がるようになり貴重な時間を過ごすことができています。

毎回アンケートをとり、反省会を行ってより良い家族交流会となるように内容や形式について改善を重ねています。まだまだ手探りな状況ですが、ご家族同士の交流がいたる所でみられるような暖かい病棟を目指して今後も取り組んでいきたいと思っております。(PT 鈴木：今年度家族交流会担当)